

「コンフリクト」を再理解する理論的方法論的な研究

人間科学研究科 森田敦郎

日付

目的

- ✧ 近年の人類学、社会理論の動向
 - ✧ Post-humanist turn, postplural anthropology multinaturalism etc.
 - ✧ 人とモノ、自然と文化などの基本的なカテゴリー区分を再考する動き
- ✧ これらの動向をふまえた新しい方法論の模索
 - ✧ 焦点が当てられた領域: 科学技術の民族誌、人類学における自然と文化の再考など

成果

- ✦ 春日直樹編『現実批判の人類学』世界思想社
- ✦ 国際シンポジウム: Rethinking the Human and the Social
 - ✦ 参加者: E. Viveiros de Castro, C.B. Jensen, A. Mol, H. Kwon, 春日, 森田
- ✦ 上記シンポをととして形成された国際的なネットワーク

本年度の課題

- ✦ 成果の国際発信
 - ✦ 国際ジャーナルへの個別の投稿
 - ✦ East Asian Science, Technology and Society (Duke U.P.)の特集号
 - ✦ “Traveling Comparisons”: 森田、モハーチ、Anders Blok (Copenhagen U.)、久保、山崎、木村

プロジェクトの継承

- ✧ 科学技術の民族誌に焦点を当てた国際拠点
 - ✧ 既存の国際ネットワーク: IT University of Copenhagen, University of Copenhagen, Cornell University, UCSB, 台湾国立陽明大学ほか
 - ✧ 日本の科学技術をテーマにする海外の人類学PhD学生(年に2件ほどのコンタクトがある)
 - ✧ 上記二つの既存リソースを活用して、持続的な研究教育ネットワークを構築する

科学技術の民族誌の国際ネットワーク

- ✧ “Environmental Infrastructures”
 - ✧ ITU, Copenhagen Uとの共同研究(森田、中川、木村、Blok, Jensenほか、GLOCOL共同研究による資金)
 - ✧ 本年度二回の国際会議、科研費への応募(今年)、共同調査(2~3年)、最終目標は成果物をメジャー出版社から出版
 - ✧ Waterworlds project (Copenhagen U, funded by European Research Council)との連携?
- ✧ 海外からの研究者招へい(科研費、学振二国間交流など)

国際的な大学院教育拠点

- ❖ 新しい日本研究としての科学技術の民族誌
 - ❖ 海外からの根強い需要を利用し、科学技術の民族誌の国際的な拠点を構築する
 - ❖ PhD調査の組織的な受け入れとフィールドワークの支援
 - ❖ 海外PhD院生を教育リソース(とくに英語、国際発信)として利用

国際的な大学院教育

- ❖ デンマーク(主にITU)からの技術移転
 - ❖ デンマーク: 海外からの招聘研究者、滞在研究者を利用したPh D セミナーで大きな成果
 - ❖ 海外招聘研究者によるPhD セミナー／院生の相互派遣
- ❖ 共同研究プロジェクトの中での教育指導

